

---

# アシノウラ

暮音孤

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アシノウラ

### 【Nコード】

N2746M

### 【作者名】

暮音孤

### 【あらすじ】

雨の降る日、ヤツらは其処にいる。  
全ては人間の動向を窺う為に。

**（前書き）**

昨年の同時期に、ふと思い付いた作品になります。

.....

.....

.....

「近頃、歴史の転換点やら革命的やら、そんな言葉を野党とかいう一団の一つが声高に訴えているが……間違えてもらっては困る」

艶めかしく体をくねらせてミンミズはため息をつく。

「そうだ、地上を蹂躪するのは我らであり、我らが同志だ！ 断じて人間などではないのだ！ 幸いにして、いま人間どもは一つにまとまらずに混乱状態にある」

一方、ミンミズはミンミズと同じく体をくねらせるが、怒気に震えていた。

「地球は年を負うごとに我々の住環境に適ってきている！」

「そうだ！ あとは忌々しい人間が蓋をした我らが地上に打って出るのみ！」

それに呼応するように、若いミンミズ達は吼え立てる。

そこは日本人が選挙に労力を割かれている現在、ずっと侵略の為に技術を高めていた種族がいる世界への想像だ。

確かなシルエットの描写は「艶めかしく」「くねらせて」が

限度のその種族は常に潤いを欠かさず、肌の荒れは死に直結するとばかりに暴れる。だが、奴らは地球温暖化に対して概ね受け入れていた。いや、その過程に生じている天変地異を待つてすらいた。

人間に地上を追われた奴らはずっと、そうして生きてきた。

「人間どもめ。これまでは少数部隊による広域斥候だったが、今度は違うぞ」

「大群で地上を、我々で埋め尽くすのだ」

「その準備も着々に進んでいる！ 人間どもも手の出せない物体転送を我らは有している！」

「ミンズやミンミズ、若いミンミーンズ達は得意になって、さらにデクションを上げていく。」

「失敗は成功の母だ！ アスファルトという蓋で我々を地上から駆逐したと思ひ込んでいる人間どもに、目に物を見せてくれる！ 僅かも隙のない、ある種の壁は辛うじて水だけは通した！」

「我らは世界に生きていくことを認められた一族なんだ！」

「その通り！ ゆえに我は」

「ミンミズ様！ マインマイン殿が参られました」

「そうか！ 通すのだ」

「いえ、伝言を承っております！」

「ならば言っただ！」

「ハッ！」

体のとくに大きいミンミズンは、そして伝えた。

.....

.....

.....

これは、人間が小さな蝸牛を踏みかけた折に生まれた蚯蚓と蝸牛のささやかな反抗の物語。

(後書き)

読んで下さり、ありがとうございます。  
続編はございません。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2746m/>

---

アシノウラ

2011年1月25日23時00分発行